

A かなり荒天下校受渡マニュアル

例：台風接近、激しい雷雨や降雪、横殴りの風雨、通学路決壊、不審者出没、連続地震等、児童だけの下校に危険が伴うと考えられる場合。

① スクールメールで周知

「本日〇時〇分に下校させます。連絡が来ない児童は学校で待機させます。下校の方法(待機か下校か迎え)を学校に連絡ください。」

② 待機電話対応

緊急名簿で下校の方法及び受渡時刻をチェック。

③ 下校時刻まで教室待機

担任にインターフォンで下校児童を知らせる。

下校児童は下校。

待機・迎え・未連絡は図書室移動を放送で指示。

未連絡児童は、保護者からの連絡を待ち、下校または迎えを待つ。正面玄関及び図書室に職員待機。

④ 移動

待機・迎え児童は、定刻に靴を持って、正面玄関へ移動。

⑤ 緊急名簿により受渡

(緊急名簿は、電話対応職員が、その後連絡がある毎に2部コピーして図書室と正面玄関職員へ渡す)

⑥ 人数と時刻を見て、全員正面玄関へ移動。

【最低限役割分担】(留守時は代行)

- ① 車で回遊(木山T)
- ② SB引率(坂本成T)
- ③ 電話対応(三嶋T)
- ④ 正面玄関対応(木村T)
- ⑤ 図書室対応(対応できる職員)
・その後は① - ⑤いずれかに入る

【確認事項】

- ① 早め決断でスクールメールは早く。
- ② 緊急時に集団下校は実施しない。
- ③ 徒歩引率下校はしない。
- ④ 下車後の危険が考えられる場合、スクールバスでの下校も行わない。



B やや荒天下校受渡マニュアル

例：通常下校が可能だが、家庭で判断が分かると考えられる場合。

① スクールメールで周知

「下校を心配されるご家庭は学校に連絡ください。学校で待機させます。待機を希望される場合は、下校が〇時〇分ですので、それまでに連絡ください。」

② 待機電話対応

緊急名簿で受渡時刻をチェック。

③ 下校時刻まで教室待機

インターフォンで待機児童に周知

④ 定刻に下校、待機児童は靴を持って正面玄関へ

⑤ 緊急名簿により受渡



【最低限役割分担】

- ① 車で回遊(木山T)
 - ② SB引率(坂本成T)
 - ③ 電話対応(三嶋T)
 - ④ 正面玄関対応(木村T)
 - ⑤ 図書室対応(対応できる職員)
- ・その後は① - ⑤いずれかに入る

【確認事項】

- ① 早め決断でスクールメールは早く。
- ② 緊急時に集団下校は実施しない。
- ③ 徒歩引率下校はしない。